

府・市一元化って そんなむちゃな……

大阪市の街づくりを 府が決めて、お金は市が出す

大阪市民は自らの手で街づくりを行うことができるよう「大阪市を残す」という結論を出しました。今回の「条例案」は、その街づくりの権限を大阪市民から奪うものです。条例案では、大阪市の財源を使う都市計画の決定権を、大阪府に委託し知事が権限を握ります。



2月10日 直接・請願行動

条例が成立すれば、大型公共事業の計画や予算の支出などとても重大な内容に対しての大阪市議会の権限が形だけになってしまいます。大阪市の主人公は、270万人の大阪市民です。住民自治に反します。

今後は別の分野にも拡大！？ 条例案には教育委員会の名前も

条例では「成長戦略」「まちづくり」に対象を限定するとされていますが、今回の条例案では関係のないはずの「教育委員会の教育長」などの名称も書かれており、一度骨組みができてしまうと、対象がどんどん拡大する可能性があります。

民主主義を議会は守って！ 私たちは諦めません！

請願署名「松井市長 住民投票の結論を守ってください」 約2万9000人分。
パブリックコメント 2002通。

11月の住民投票では、初期の形勢報道では「不利」とされた「大阪市廃止反対」が、多数になったのは、市民一人ひとりが事実を調べ、行動した結果でした。今回の条例提出には、「都構想」に関心のなかった人や賛成した人の中でも、こんな手法は許せないとの思いが広がっています。

一緒に世論を広げましょう！